

平成30年7月5日

阿武町長 花田 憲彦 様
阿武町議会議員 末若 憲二 様

農事組合法人「うもれ木の郷」
女性部 四つ葉サークル有志一同

「イージス アショア」むつみ演習場配備計画の撤回を求める嘆願書

「イージス アショア」の言葉を耳にしたのが、今年1月初旬。住民説明会の開催が6月17日でした。この間 私達は、事あるごとに町に対して質問を繰り返してきました。3月に行われた宇生賀中央での町政懇談会でも質問がありました。

しかし その都度、「国からの説明は何もありません。」の繰り返しでした。

ところが6月17日の説明会では実施計画を提示されたただけだと受け取れます。この半年間、国からの説明を待つだけでなく、もう少し早い段階で、積極的に情報収集をし、手を打つことが出来なかったのか疑問が残ります。

私達の住んでいる宇生賀の歴史は長く この耕地は底が深い沼地であったため稲作づくりは他の地区に比べ数倍の重労働を強いられました。まさに命がけで我々も含め、先人たちはこの地を守って来ました。

そして、20年前 膨大な時間と経費をかけて耕地整理がなされました。その際の住民の皆さんが担う負担額も高額でした。やっと軌道に乗り、法人 うもれ木の郷の皆さんと共に、私達女性も、安心、安全な米作りに、環境整備と併せ努力してまいりました。今ここで 自然への影響、人体への影響など不透明な「イージス アショア」を配備し、見えない電磁波などで、人為的に汚してもよいものでしょうか。

また、私達はここで採れた大豆、きれいな水を使った豆腐作りにも取り組み、今では皆様から美味しいとの高評価をいただいています。

地域づくりのために行う、イベントでは「宇生賀の美しい自然を見に来て下さい。」と声を上げます。

「イージス アショア」が出来た後も同じように、私達は声を大にして、安心、安全、美しい宇生賀を誇れることが出来るのでしょうか。これまで私達が一生懸命に努力し守ってきたものを風評被害などで失いたくありません。今なぜ、むつみ演習場なのでしょうか？

そして、何より危惧しているのが有事の際、ここが標的となる可能性がゼロではないということです。常に身の安全が脅かされるのです。

私達は多くを望んではいません。この先も永遠に、子や孫のために守って来た、美しい宇生賀の地で平穏に暮らしてゆきたいだけです。

このささやかな女性の思いを、おくみ頂き、町長さんを始め関係者の皆様に「イージス アショア」むつみ演習場配備計画の撤回を防衛省に届けて頂きますよう強くお願いいたします。